



教育委員会だより **さいたま**

第49号

～ *Well-being* 実現のために ～

発行日: 令和8年4月27日(月)

発行: さいたま市教育委員会



教育長メッセージ

さいたま市教育委員会 教育長 竹居秀子



令和8年度 志動・考動 ～教育の新たなステージへ～

4月は、入学式や始業式を迎え、子どもたちが新たな一步を踏み出す大切な季節です。春の息吹を感じる中、先日、市長とともに「さいたまマーチ～見沼ツデーウオーク～」に参加しました。満開の桜に彩られた見沼の景色は見事で、会場には多くの家族連れの姿がありました。歩く途中、子どもたちが元気にあいさつしてくれ、その笑顔に触れるたび、さいたま市が子育てや教育の面で着実に確かな歩みを進め、「選ばれる都市」として成長していることを実感しました。こうした子どもたちとの温かな交流は、私にとって大きな励みとなり、教育行政を担う者としての責任と喜びを改めて感じる機会となりました。

令和8年度、「Well-being(幸せ)を保障する教育」をさらに進化させ、「学ぶならさいたま市」と胸を張って言える一年を、皆さんと共にスタートさせたいと思います。

さて、教育委員会の使命は、先行きが不透明な時代だからこそ、学校をしっかりと支え、「さいたま市教育」を次のステージへ進めることにあります。令和8年度は、これまでの取組を基盤に、「教育の質」と「学校支援の質」を一層高めてまいります。

今年度は、市長が定める「さいたま市教育大綱」と、教育委員会が進める「第2期教育振興基本計画<「さいたま市教育アクションプラン」>」が改定され、組織改正が行われるなど、計画と組織がより強く結びつく体制が整いました。

新しい教育大綱には、今後5年間に、「市長部局と教育委員会事務局が連携して取り組む事項」が明確に示されています。具体的には、部活動、コミュニティ・スクール、いじめ対策、主権者教育、学校施設の活用など、社会的要請の高いテーマに市全体で向き合う姿勢が示されました。また、アクションプラン(令和8～10年度)の改定では、実行の枠組みを再構築し、教育委員会と学校が協力して教育の質を高めていく道筋を示しました。

さいたま市の教育を次のステージへと進め、子どもたちがより安心して学び、未来への希望を育む環境をつくるためには、地域や保護者の皆様のお力添えが欠かせません。令和8年度も、皆様方のお力をお貸しいただきながら、「日本一の教育都市」で「日本一幸せな子ども」を育ててまいります。引き続き、皆様方の温かいご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。

教育長フォトレポート

教育長が参加した行事の様様や活動の様子などをお伝えします。



※詳しくは教育長フォトレポートで検索⇒[こちら](#)から

令和8年4月 大和田小学校が開校しました

教育政策室 ☎:048-829-1626

大和田小学校外観



温水プール



教室



多様な学びの展開を後押しする大和田小学校の学校施設



体育館



中庭



図書室

生涯の学びの拠点として、体育施設、特別教室を地域へ開放



放課後居場所事業専有室



音楽室



図工室

令和8年4月 いろどり学園小学部・中学部が開校しました

総合教育相談室 ☎:048-688-1453

【いろどり学園小学部・中学部の概要】

[さいたま市「学びの多様化学校」について\(令和8年4月開校\)](#)

文部科学省の指定を受け、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育課程を編成する「学びの多様化学校」です。学校教育法第1条に定められた正式な公立学校であり、卒業資格は通常の小・中学校と同様に認められます。

【スクールビジョン】

「自分らしさを輝かせ、未来の自分を描ける学校」を掲げ、一人ひとりに寄り添った多様な支援を通じて、学力やコミュニケーション能力を育み、卒業後の自分を前向きにイメージして成長できる環境を目指します。

【いろどり学園小学部・中学部の3つの特色】

1. いつでもどこでも学びにアクセス

キャンパス制を採用しており、市内6か所のアクセスしやすいキャンパスを選択して学習できます。また、状況に応じてオンライン学習やメタバースも活用でき、自宅から授業に参加することも可能です。

2. 自分らしく学べる新設教科「未来工房」

通常の教科に加え、「未来工房」という特別な時間を設定します。過去の学習の復習や、興味・関心を深める探究学習、将来の進路について考える活動など、個別のニーズに応じた学びを行います。

3. 安心できる居場所

少人数指導を基本とし、公認心理師や精神保健福祉士などの専門職にいつでも相談できる体制を整えます。心理的な安全性を確保し、安心して学べる環境を提供します。

【キャンパス所在地】



さいたま市では国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度末に市立小・中・特別支援学校の1人1台端末を導入しました。これまでの5年間、1人1台端末は子どもたちの学びを豊かにする役割を果たしてきましたが、活用が進む中で、端末の処理性能や破損率、適切な使用環境の確保などの課題も明らかとなってきました。

そこで、教育委員会では、教職員や児童生徒への調査・ヒアリングを丁寧に行い、これからの学びにふさわしい端末の在り方について、総合的な検証を進めてきたところです。

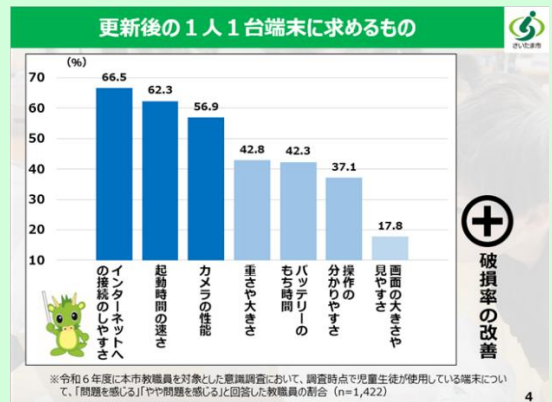
それらを踏まえて、令和8年3月に、新たな1人1台端末に更新しました。

1 導入に当たっての検証

これまで使用してきた1人1台端末が、令和7年度末にリース契約期間の満了を迎えるに当たり、教育委員会では令和6年度からワーキンググループを設置して、検討を進めてきました。

教職員を対象に実施した調査やヒアリングによると、「インターネットへの接続」「起動時間」「カメラの性能」など、子どもたちがよりスムーズに学習に使用できるよう、性能の向上を求める声や、破損の少ない端末を求める声が多いことが、分かりました。

更新に当たって、検証校で様々なOSの端末を授業で使用し、教職員や子どもたちの声を聞くなど、子どもたちの学びにふさわしい端末の検証を行いました。



2 新しい端末の特徴

(1) 市立小・中・特別支援学校の児童生徒の1人1台端末を、iPad (A16) に更新し、起動や動作の速さ、カメラ機能の充実、端末破損率の低下を図ります。

(2) 端末のペアレンタルコントロールを導入し、家庭における端末の使用時間や、使用できるアプリ等について、保護者の方が設定できる環境を整備します。

これらの環境の導入により、5年間で明らかとなった課題を解消し、国が目指す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を、さらに推進するとともに、子どもたちの学びの継続性を保障していきます。

本市におけるデジタルの活用の基本的な考え方は、昨年策定した「さいたま市教育DXグランドデザイン」においても示しているとおり、「デジタルの力でリアルな学びを支える」ことにあります。

これまでの学び方や教え方、働き方を、デジタルの力を最大限活用して「デジタルトランスフォーメーション(DX)」することで、全ての子どもたちと教職員の「Well-being」を実現していきます。



3 保護者・子ども向けの周知について

児童生徒が端末を安全かつ適切に使用できるよう、使用場面や使用上の留意点等をまとめたリーフレットを作成し、配布しています。

[さいたま市の子どものためのタブレットが変わります!!](#)

また、さいたま市立教育研究所内のWebページ内でも、随時御確認できる環境を整えています。

●採用見込数 2 1 3 名

志願区分	採用見込数
小学校教員	90名
中学校・高等学校 中等教育学校教員	90名
特別支援教育担当教員(小学校)	20名
特別支援教育担当教員(中学校)	5名
養護教員	5名
栄養教員	3名

●採用選考試験スケジュール

項目	日程等
志願受付	4月 6日(月) ~ 5月 7日(木)
第1次試験	7月 5日(日)
第1次試験 合格発表	7月24日(金)
第2次試験	8月 8日(土)・9日(日)の2日間 8月22日(土)・23日(日) のいずれか1日
第2次試験 合格発表	9月30日(水)

●主な変更点

- ① 「小学校教員プレ・ライセンス特別選考」の新設
- ② 「ティーチャー・リターン選考」の実施時期の変更

詳しくは、[要項](#)をご覧ください。



さいたま市で先生になろう！

詳細はさいたま市のホームページで

[令和9年度採用\(令和8年度実施\)さいたま市立学校教員採用選考試験](#)

令和9年度採用(令和8年度実施)さいたま市立学校教員採用選考試験に関するページです。

[令和8年度さいたま市スクールアシスタント\(会計年度任用職員\)の登録について](#)

令和8年度さいたま市スクールアシスタント(会計年度任用職員)の登録についてのお知らせです。

[令和8年度さいたま市立学校臨時的任用等教職員の登録](#)

令和8年度のさいたま市立学校臨時的任用等教職員(教員、養護教員、学校事務職員、学校栄養職員、非常勤講師)の登録を、随時行っています。

<お知らせ>

さいたま市  公式アカウントが

\\ もっと便利に！ //

- 児童生徒・保護者向けのイベント情報など、欲しい情報を登録しておくで登録内容に合った情報が届きます
- 欲しい情報の登録はトーク画面右下の「受信設定」からできます



【追加方法】

- ① 上のQRコードを読みとる
- ② ID検索「@saitamacity」

とっておきをひらく —さいたまをめぐる美術

地域で守り伝えられてきた美術作品を、
当館の収藏品とともに紹介する展覧会です。

1. 個人宅や企業で受け継がれてきた作品が一堂に会する機会
地域の暮らしの中でふだんは見ることのない作品がまとまって紹介されるのは、本展ならではの。「このまちに、こんな作品があったのか」と気づかされる展示風景が広がります。



2. 「浦和絵描き」にまつわる、地域に息づくエピソード
背景には、必ずしも記録に残らない地域の記憶やエピソードがあります。本展では、そうした断片的な手がかりにも目を向けながら、地域に根づいた美術の姿をたどります。

3. さいたま市民の日(5月1日)はどなたでも観覧無料！
地域に伝わる“とっておき”の美術作品を、より多くの方に気軽にご覧いただける一日です。

令和8年4月18日(土)～6月21日(日)



ぜひお越しください！



学校法人香川栄養学園女子栄養大学と連携協定を締結しました

高校教育課 ☎:048-829-1671

令和8年3月26日(木)
さいたま市教育委員会 × 女子栄養大学
連携協力に関する協定 締結式



教育長
竹居 秀子

理事長・学長
香川 明夫 様

地域の未来を支える
「スポーツ × 栄養」連携へ

双方が持つ知見と教育資源を生かし、地域社会の発展に寄与することを目的として、本協定を締結しました。

今後の教育活動において、大学のもつ科学的な知見に基づき、食の重要性をより深く理解することで、生徒のキャリア形成につながる事が期待されます。



サッカー部対象セミナー バスケットボール部対象セミナー



令和7年度は、市立浦和南高等学校において、スポーツ栄養に関するセミナーを実施しました。

今後は、両者の連携を市立高等学校3校及び中等教育学校へと広げ、生徒たちの「食を中心とした未来の学び」につなげてまいります。